

平成28年（2016年）4月1日発行

新入生の皆さんへ 理事長からのメッセージ

皆さん、ご入学おめでとうございます。緑豊かな日本工業大学のキャンパスへ、ようこそ。満開の桜とともに、お迎えいたします。

ご家族の皆様におかれましては、わが子の成長と、4年後、社会にはばたく姿に思いを馳せ、楽しみとされていることでしょう。

本学園の一世紀を超える歴史と伝統のもとに、本学は理論と実践力との双方の習得に力を入れる教育理念を掲げています。よき技術者となる学びに励んでいただきたいと思います。

さて今日、自動車もモバイル機器も住宅、都市設計も、どんなものづくりも数えきれないほどの多様な工学技術が投入されています。また、例えば競泳用の水着は水の抵抗を低くするため、魚や鳥などの研究成果を応用して開発が進められています。製品だけでなく、サッカー

技術の応用、活用は
無限に広がって

いがある一方で、ややもすると「これにしか目が向いていない」ということにもなりがちな面があります。

そこで、ご自分の専門を深めるとともに、様々な分野に、さらにはまったくかけ離れたと思われる分野に目を向けていくことを忘れないことが大切だろうと思います。

理事長
柳澤 章

選手の戦力強化にビッグデータの分析技術が活用され、ドイツチームは勝利に結びつきました。技術の応用範囲は無限の広がりを見せています。

皆さんはそれぞれ自分の学科で専門分野の学びを進めています。専門というのは、「これには強い」という意味合

います。

また、実際の仕事の現場では、製品をつくるにしても、企画を形にするにしても、リレー式にバトンタッチしながら完成させていきます。ですから、バトンをもろう相手、渡す相手、それぞれの仕事について理解をしていることが欠かせません。そうであってこそ、仕事も成功し、自分の技術力が発揮でき、優れた技術者となっていくのでしょ。

学園は来る2017年には110周年を、そして大学は50周年を迎えます。科

業経営における経営理念として具現化される

る時期にあると思います。

新入生の皆さんを心より歓迎いたします



新入生の皆さんへ 学長からのメッセージ

新入生のみなさん、入学おめでとう。日本工業大学は、君たちの夢を叶えるために、工夫を凝らした授業や魅力的なプログラムを数多く用意しています。それらをどれくらい活かせるかは、皆さんのやる気と学びたいという意欲、次第です。皆さんが思っている以上に、皆さんはすごい力を持っています。本格的なスキルを本学でしっかり身に付け、眠っていた自分を叩き起こし、本来自分が持っている能力を最大限発揮する。そんな4年間となることを心から期待しています。

みなさんは「勉強」という言葉から何を連想しますか。試験前に「覚えた」とことは、試験が終わるとすぐに「忘れて」しまいます。でも、なるほど、と自分で「理解した」と「わかった」とことは努力しなくても決して忘れることはありません。「何かを知る」ということは、本来それだけで楽しいことです。また、基本

何のために今学ぶのか
全ては君の人生のため

となる原理を理解すると、関連する事項が「閃き」とともにすらすらと「わかる」ようになります。そこそこが、新しいことを知る面白さなのです。何かを知ると、その前の知らなかった自分が見えるようになります。このような「知」の体験をすることこそが大学の醍醐味です。

学長
成田 健一

の平均読書量は4年間で百冊と言われています。無駄にしている時間はありませ

ん。スマホやゲームに時間を奪われ続ける人生とは、一刻も早く決別しましょう。

今、大学はエビデンスに基づく卒業生の「質保証」を求められています。本学の卒業生は「何ができる」のか、具体的なデータをもとに社会に訴えていかなければなりません。外部テストの導入も含め、今後はこれまで以上に、皆さんの学修の達成度を厳格に評価していく方針です。単位が取りやすい授業や過去問を先輩から教わって楽に卒業する、そんなことが通用したのは遠い昔の話です。

本当に大事なものは、皆さん自身が気づくこと。皆さんの意識、考え方、生き方を変えるこそが、勉強で結果を出すために、人生を変えるために必要なことなのです。さあ、私たちと一緒に、今日そのための一歩を踏み出しましょう。

新入生の皆さんへ 学生自治会中央執行委員長からのメッセージ

勇気ある一步一步を

中央執行委員長
創造システム工学科4年
山本 郁弥

新入生の皆様、御入学おめでとうございます。学生自治会を代表して、心より御祝い申し上げます。

皆様は今、新生活に心を躍らせている事でしょう。これからの大学生活に

出来ず。しかし、待っているだけでは何も訪れません。自分から二歩踏み出せば無限の可能性が皆様を待っています。どんな天才であっても最初からゴールにいる人はいません。一歩一歩少しずつゴールを目指しているのです。勇気ある一歩一歩が自分の人生を彩り、意味のあるものにしていくのです。

時には壁にぶつかることも右につまずくこともあるでしょう。そんな時は一人で悩まず、周りの人に相談をしましょう。頑張っているあなたはとても素敵です。そんな素敵なあなたを周りの人は必ず助けしてくれることでしょう。

最後に、皆様がこの大学生活を通して得た出会いや経験は、必ず一生物の宝となるでしょう。また、今後の4年間が充実した大学生活になる事を切に願ひ、歓迎の言葉と致します。

中小企業における

経営者の「念い」と経営理念

技術経営研究科 研究科長・教授 小田 恭市

大学院技術経営研究科では、技術系中堅・中小企業の経営者・後継者・幹部社員などを対象に技術経営マネジメントを教育しています。

中小企業と大企業（上場企業）では、ヒト・モノ・カネなど経営資源で大きな格差があることは言うまでもありませんが、「経営者は誰のため、何のために経営しているか」という問いに対する回答に本質的な違いがあります。

大企業の経営者には、株主のため如何に利益を高めるかが課題となっています。一方、多くの中小企業経営者には、経営者自身の自己実現を如何に図るかが課題となっています。

経営者の自己実現には、「社会に貢献したい」「顧客の喜ぶ顔が見たい」「次の後継者へうまく承継したい」「従業員の生活向上に貢献したい」など様々あります。

こうした経営者自身の自己実現は、中小企業経営における経営理念として具現化される

現在、多くの中小企業では創業者から二代目、三代目の経営者に事業承継が進むとともに、我が国の産業、技術、市場などがグローバル化の中で構造的に変化しています。創業者の「念い」、事業承継する新たな経営者の「念い」を大切に、そうした構造的な環境変化の本質を見抜きながら、経営の基軸となる経営理念を改めて見つめ直すことが求められる時期にあると思います。

ようこそ、実工学の学び舎へ

教務部長からのメッセージ

新たに大学へ入学した皆さん、今日から君たちは「学生」です。高校までは君たちのことを「生徒」と呼んでいたのに、大学では君たちを「学生」と呼びます。「生徒」と「学生」の違いとは何でしょうか？ 学校教育法では「生徒」は「中等教育を受けている者（中学校・高等学校に在籍する者）」であり、「学生」は「高等教育を受けている者（大学・高等専門学校に在籍する者）」です。言葉の意味を調べると「生徒」とは既知の事実を学ぶ人であり、知識の蓄積と与えられた問いに



「学生」になった君たちへ

教務部長・教授 神野 健哉

決められた通りに答えられることを目指しています。ですから中学校・高等学校では教科書に書いてあることを全て覚えることができたことが重要でした。これに対して「学生」は自ら問題を提起し、自分なりに仮説を立て、その答えが妥当なのかを論証することができるようになることを目指します。これはこれまでの「正答」がある世界と異なり、自ら答えを出した上でその答えが正しいのか、正しくないのか、それが求められている要求に対して相応しいのかを自分で判断しなければ

なりません。そのような能力を育てるために大学の学びでは、自身が持っている知識や技術を基に自身が欲しいと思うような新たな方法やデザインを考え、その考え出したものが、本当に自分が欲しいと思ったものになっているかを自身で検証できるようになることを目指します。そのためには、まずその分野の基礎的なこと、既知であることを学ぶ必要があります。工学の分野ではこれら基礎的なものを理解するための道具として数学や物理を使います。だからまずは工学を学ぶために必要な基礎的な数学、物理を学びます。また自分が思いついたことが世界の何処かで既に発表されていたりしないかを調べるには、全世界で最も広く情報発信源として使われている英語の情報を読む力が最低限必要です。ですから少なくとも英語を学びますし、場合によっては中国語やフランス語も学びます。更には自分のアイデアを広く世の中に知らせるためには自身の情報発信能力としてプレゼンテーション能力や自分の考えを正しく伝えるための国語力が必要となるのです。自身で問題を設定し、解決ができる人になるため学ぶという姿勢で4年間を過ごしてください。



人と環境に優しいものづくり

ものづくり環境学科主任・教授 八木田 浩史

ものづくり環境学科では、ものづくりの現場で、工学技術を踏まえて環境改善に取り組むことができる専門家を養成することを目指しています。定員50名と少数の学科ですが、皆さんの顔を、皆さんの顔を、同級生はもうみんな、教員、そして先輩にも覚えてもらえます。時には厳しい指導・教育がなされることもあるかも知れませんが、大学生ですから、自覚と責任を持った



未来へと続く道

機械工学科主任・教授 中野 道王

日本機械学会の年鑑を見ると、機械工学の守備範囲は航空宇宙からバイオまで、想像以上に広いことが分かります。つまり、将来皆さんの力を発揮できる産業分野は極めて広いのです。それ故に、これから皆さんが本学で学ぶことも多岐にわたります。もしもその幅広さに不安を感じたら、富士山を思い浮かべてください。のびやかで広大な裾野の上にそびえる凛とした山頂。この美しい姿を見ると、幅広い学びの上に高いレベルの専門能力を積み上げた未来の皆さんの姿なのだと思います。機械工学科は、充実した実験・実習・製図科目や個性溢れる3つのコース・プログラムなど、独自に進化させたカリキュラムをベースに、実践力に優れた多くのエンジニアを輩出してきました。皆さんの前に、歴史に裏付けられた未来へと続く道が伸びています。一歩一歩着実に進んで行きましょう。



最高学府へようこそ

創造システム工学科主任・教授 中里 裕一

皆さんはどのような夢をお持ちでしょうか？人間のようなロボットの開発？バイオ技術を用いた革命的な医療？大学は「最高学府」と呼ばれ、革新的な研究を行うとともに、それらの知見をいち早く学生諸君に伝授する役目を担っています。高校までとは違ったより高度で、先端的な内容の授業が展開されます。創造システム工学科では、ロボット工学やナノ



電気電子という布を共に織ろう

電気電子工学科主任・教授 青柳 稔

電気電子工学は、生活や産業のあらゆる場面に及んでいます。しかし、電気電子工学に取り組み私たちは、その相手を直接見る事はできません。例えば、電流の根源である電子は質量と電荷を持っていませんが、大きさが無いかも知れません。人類はまたその正体を知りません。しかし、電気電子工学では、実態のしれないものを制御し、電器製品やインフラを設計すること



好奇心を持とう!

情報工学科主任・教授 辻村 泰寛

新入生の皆さん、情報工学科へようこそ。皆さんの入学を心より歓迎致します。新入生諸君の中には「大学」での生活や勉強がどうなるのか良く分からず、大いなる不安を抱えている諸君もいると思います。ですがご安心ください。専任のスタッフをはじめ学科教員が丁寧な指導を心掛け、皆さんの「夢」の実現に向けてお手伝いします。どうか、君たちが持っているその夢を大事にし、卒業までの4年間に育み育ててください。



潜在能力を発見するために

建築学科主任・教授 那須 秀行

建築学は身近で広い分野に関わる工学です。目に見えない電気電子を制御するためには、物理や数学を手掛かりにしますが、日本語や英語の力がないと文献を読む事も書く事もできません。学問はバラバラではなく、それぞれが結合しています。新入生諸君は各自の意思により、電気電子工学に専門性を定めたのですから、各自が主体的に、学問という多様な糸を、電気電子という布に織ってゆかねばなりません。厳しい4年間で、共に電気電子を操る術を考えましょう。



本物の自信と誇りを

生活環境デザイン学科主任・教授 黒津 高行

皆さん4年間間の大切な時間を手に入れたね。大きく成長する人生の一瞬間に立ち会うことができ嬉しく思います。大学は高校時代までの学び方を一変させる環境を変えていきます。新しいアイデアはどのように生まれるのでしょうか？ それには好奇心が必要不可欠です。情報工学科では、自ら学ぶアクティブ・ラーニングを取り入れたカリキュラムで教育を行っています。授業はもちろん、クラブ・サークル活動、友人との合間のアルバイト、それだけでは勿体ない。好奇心を発揮して、大学生活を試みてください。



幅広い教養を修めよう!

共通教育系主任・教授 菊地 信一

共通教育系では、教養教育と基礎教育を担っています。教養教育は全等語学、キャリア教育、学習基盤科目などの文系教員と、数学、物理、化学などの理系教員で構成されています。各自の研究と共に、それぞれの広い領域の科目を担当しています。新入生が受講する科目も多いですが、スチュデントアワー（先生への個別相談の時間）も、ぜひご利用なさることをお勧めいたします。これからの4年間の大学生活を充実させるものにしていきましょう!



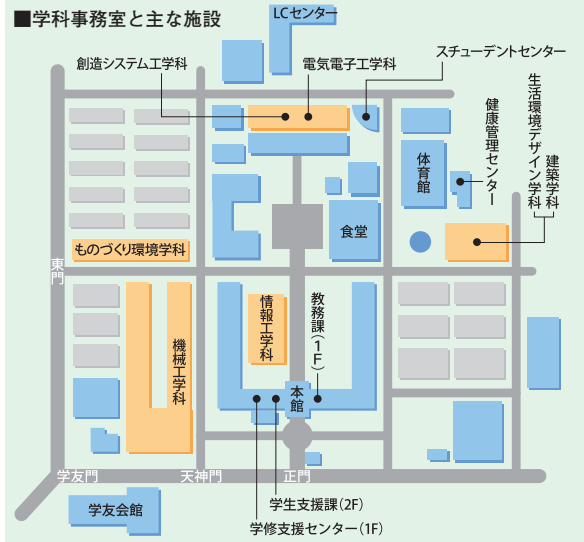
夢に向かって自分を磨こう

学生支援部長・教授 竹内 貞雄

人として認められるための人間的成長のチャンスです。肉体を鍛えるのにトレーニングが必要のように、皆さんが四年後に「社会」という舞台で活躍するためにはそれなりの努力が必要です。大学は高等学校までに学んだ「学力」を伸ばすだけではなく、個性、別知の知識を統合して新しい知見に結びつける「思考力」、物事の本質を見抜く「洞察力」、事の善悪や自身の行動を決める「判断力」、言葉や文章を通して他人を動かす、協調できる「コミュニケーション力」などの「社会力」を高めていく必要があります。

皆さんは日本工業大学という新しい世界に第一歩を踏み出したところ。周りを見渡せば知らない人ばかり、今までの友人はいません。親元から離れての一人暮らしの不安もあるかもしれません。しかし、何にも増して期待や夢に胸を膨らませていくこと、明日への期待「は若い皆さんの能力を飛躍的に高める原動力となります。周辺環境が大きく変わる大学への入学は「大

新しい世界に飛び込むことによって人間は大きく成長することができます。皆さんは日本工業大学という新しい世界に第一歩を踏み出したところ。周りを見渡せば知らない人ばかり、今までの友人はいません。親元から離れての一人暮らしの不安もあるかもしれません。しかし、何にも増して期待や夢に胸を膨らませていくこと、明日への期待「は若い皆さんの能力を飛躍的に高める原動力となります。周辺環境が大きく変わる大学への入学は「大



新入生対象の主なスケジュール (2016年4月初旬)

4月1日 (金)	オリエンテーション (教務部、学修支援センター、女子学生対象など)、学生証交付、健康診断
2日 (土)	オリエンテーション (各学科)、新入生に対する調査
3日 (日)	入学式、オリエンテーション(外国人留学生対象、編入生対象)
4日 (月)	オリエンテーション (学生支援部、学生自治会)、女子学生交流会
5日(火)~6日(水)	フレッシュマンキャンプ (1泊2日)
7日 (木)	春学期授業開始
8日(金)~21日(木)	履修申告期間

入学後の大きなスケジュールなどについてご案内します。

■まずはオリエンテーションをよく聞こう

入学式の前後には関係部署からのオリエンテーションが実施されます。例えば、教務部は履修方法や単位取得などについて、学修支援センターは利用の案内、学生支援課は学生生活全般の心構えのほか、女子学生や留学生向けの対象者別の説明を行います (左下の表を参照)。

疑問や不安に思うことがあっても、他人の前では質問しにくいことがあるかもしれませんが、そのような場合には、担当の先生に直接相談するなどして、一つ一つ解決していきましょう。

■授業のスタートはフレッシュマンゼミから

オリエンテーションの期間が終わると、いよいよ授業が始まります。その第一歩が、1年次春学期の必修科目となっている「フレッシュマンゼミ」です。各学科を20人前後の少人数クラスに分け、大学での学び方や各学科の専門分野について、クラス担任の先生が説明を行います。

■履修申告について

大学では必修科目のほか、自分で選択する科目もあり、履修申告を行うため、受講します。授業開始日から10日ほどの間は試行期間となっており、各科目の内容を正式受講前に体験することが出来ます。申告までの過程で疑問に思うことがあったら、担当の先生やフレッシュマンゼミの担任の先生に相談してみてください。

■学修支援センターを利用しよう

学修支援センターでは、常時、相談を受け付けています。受付時間は月曜から金曜の午前11時から午後6時まで (休み期間は除く)。授業内容の質問から、大学生活や人間関係の悩みまで、専門の先生(チューター)が相談に応じます。気軽に利用してください。

■大学生活は人間関係づくりの場

大学生活においては、人間関係づくりがとても大切です。新しい友達をつくり、先輩とも親しくなるために、クラブ活動や学生自治会などに積極的に参加することをお勧めします。

■研究室や工房を訪問してみよう

研究室に正式に所属するのは3年次、学科によっては4年次になってからですが、オープンキャンパス参加時などに興味をもった研究室や工房があれば訪問してみたいかがでしょう。1年次から研究に取り組み、立派な成果を残した先輩もいます。

大学生活のスタートにあたって

学生相談室 畑屋 真由美

大学では、学修を含めた生活全般において自由が増します。自由には自己決定・責任が伴います。それは「迷い」「悩み」を生むことがあります。乗り越えることで成長にもつながります。心の専門家が相談に乗りますので、気軽に来てください。

学修支援センター 川合 耕一郎

基礎科目(数学・物理・英語など)や授業内容の質問、履修計画や大学生活全般に関する相談はもちろんのこと、主体的な深い学びへと繋がるサポートを用意しています。スタッフと学生ボランティア一同、君の来室を待っています。

私たちが皆さんの大学生活をサポートします！

学生支援課 大塚 竹郎

クラブ活動や奨学金、学生証や学割の発行等、学生生活全般を扱っています。困ったことや分からないことがあれば、ぜひ相談に来てください。また、充実した学生生活を送るために、委員会やクラブ活動にも積極的に参加してください。

教務課 日下部 恵美子

教務課では、①履修申告②休学・退学③試験や成績④在学証明書等の発行などを取り扱っています。わからないことがありましたら気軽にお越しください。みなさんが充実した学生生活を送れるようサポートします。

スチューデントラボ 上野 貴博

スチューデントラボは、全学科の皆さんが利用できる「ものづくり」の施設です。機械加工・電子工作・木工などに必要な工具を揃えています。どなたでも専門スタッフによる指導が受けられますので、積極的に活用してください。

健康管理センター 林 祐司

健康管理センターは、学生及び教職員の健康相談や応急処置及び運動指導を行っています。毎週水曜日は、校医による健康相談も実施していますので気軽においでください。定期健康診断を受診した学生には、健康診断証明書を発行いたします。

総務課 杉村 京子

ご入学おめでとうございます。私たち総務課では、「学友会館」「施設の時間外利用」「後援会」に関わることなどを扱っています。その他「総務課」の名称のとおり、何でも受け付けていますので、困ったことがあったら遠慮なくご相談ください。

英語教育センター 廣田 純子

学内留学をしてみませんか。センターに通って、英語が話せるようになった先輩が何人もいます。英会話を始めたい人、外国の文化に興味のある人、授業の復習やTOEIC、英検の勉強をしたい人、ぜひセンターの扉を開けてみてください。

NITクリエイト 西垣 昌彦

学生の皆様の学園生活が充実したものとなるよう、学生食堂、カフェテリア、売店(書籍・文具・飲料水の販売)の運営、さらにはアパート斡旋、資格取得支援、保険代理店、学内清掃、整備等の業務を行っています。詳細はHPをご覧ください。

財務課 磯 雄二

財務課では、学費・追試等の収納業務や納付期日の相談を行っています。また、物品の調達・支払等も行っています。皆さまの学校生活が円滑・有意義に送れるようサポートする「縁の下力持ち」でありたいと財務課スタッフ一同願っております。

大川陽康奨学金 日本工業大学学業奨励奨学金(新2・3・4年生)

平成28年度の大川陽康奨学生および学業奨励奨学生が決定した。本奨学金は、年間を通じて学業成績・人物ともに優秀な大学院生、学部生が選考される。

大川陽康奨学生には20万円、学業奨励奨学生のエクセレントス

チューデントには50万円、リマーカーカブスチューデントには20万円の奨学金が給付される。

本年度は、大川陽康奨学生24名、学業奨励奨学生111名が採用された。

尚、採用者は以下の通りである。

平成28年度 日本工業大学学業奨励奨学生名簿

エクセレント スチューデント				
学群	年次	2年次	3年次	4年次
		氏名(出身校)	氏名(出身校)	氏名(出身校)
機械システム学群		川島史也(花咲徳栄)	春日啓汰(岡谷工業)	富謙太郎(深谷第一)
		石井祐樹(久喜北陽)	姜哈(東港市第一中学)	長倉智史(春日部共栄)
		細野芽依(千葉西)	関根崇仁(久喜北陽)	新井颯太(秩父)
		湯沢将大(鹿沼東)	國谷海貴(足立学園)	吉田悟志(郡山北工業)
		竹上優(柏)	武捨秀紀(上田染谷丘)	金子望(日本工大駒場)
電子情報メディア学群		高田友輔(小高工業)	青木俊親(専修大学松戸)	新井春樹(本庄)
		宇戸龍(浦和東)	遠藤匠(佐野松桜)	橋本侑樹(太田工業)
		奥田拓海(柏の葉)	柴田尚明(鶴岡工業)	若松怜(筑波大学付属坂戸)
		手塚大湖(春日部)	針貝翔(新津工業)	長山優輝(盛岡工業)
建築デザイン学群		山岸はるか(上田千曲)	毛塚さやか(栃木女子)	里見凌一(桐生)
		川村輝(花北青雲)	戸井泉(長野工業)	指田尚樹(宮津)
		田村優香(熊谷女子)	藤山莉沙(工芸)	森優海(桐生工業)

リマーカーブル スチューデント				
学群	年次	2年次	3年次	4年次
		氏名(出身校)	氏名(出身校)	氏名(出身校)
機械システム学群		阿部航大(真岡工業)	佐々木伶(春日部工業)	嘉藤遥平(下妻第一)
		遠藤拓真(上越総合技術)	大谷和也(大宮北)	山岸和貴(小山西)
		田村友唯(春日部工業)	町屋龍乃佐(日本工大駒場)	山岸直弥(十日町)
		松本拓朗(川越工業)	渡辺勇太(富士宮西)	安藤直博(浦和北)
		河西郁哉(佐野東)	長尾健吾(下館工業)	平井尚輝(羽生第一)
		大倉野士士(太田東)	藤咲要(勝田工業)	山下健一(日本工大駒場)
		尾高智矢(敬愛学園)	菅谷将之(北広島)	信太悠(久喜工業)
		蟹井鉄吉(蔵前工業)	杉浦勇亮(総合工科)	谷川昇平(弘前工業)
		堂田繕穂(越谷総合技術)	高橋大希(武南)	根岸智哉(川越工業)
		中村朗人(沖縄工業)	渡邊健登(福島工業)	宮内雄大(江北)
電子情報メディア学群		高橋昂靖(湯沢翔北)	熊谷亮太(流山おおたかの森)	船田鉄朗(池田工業)
		鈴木陽大(勝田工業)	森田康輝(栃木工業)	中山昌美(下館工業)
		青木聖弥(越谷南)	川上敬太(春日部工業)	大戸雄一郎(久喜工業)
		内野興也(東京農大第三)	角田裕哉(下館工業)	山川成之助(古河第三)
		塚田克樹(古河第一)	一戸祐汰(五所川原工業)	織原有里(古河第三)
		越膳佑気(日本工大駒場)	小西航太(学芸館)	岩間広弥(与野)
		石塚匠(鶴岡工業)	小西大気(熊谷工業)	柏木優斗(今市)
		奥平智也(佐野松桜)	大和田佳那(太田女子)	上原明莉(高崎工業)
		安彦久志(新庄神室産業)	渡邊嘉哉(小諸)	飯塚沙里(下館第二)
		小林千祥(水戸工業)	岡部大樹(川越工業)	浅見玲衣(与野)
建築デザイン学群		山口竜(日本工大駒場)	石山聖奈(新潟工業)	吉田将宜(石岡第一)
		田島佑亮(秩父農工科学)	宇田川亮太(春日部工業)	宮内祐貴(飯田長姫)
		荒井達喜(佐野松桜)	木村拓登(春日部工業)	長嶋慶(学芸館)
		若菜裕也(春日部工業)	松山基弥(いわき秀英)	森上友唯(金沢市立工業)
		坂本佳奈(小川)	神山和輝(大宮工業)	三浦万里奈(共栄学園)

平成28年度 日本工業大学大川陽康奨学金奨学生名簿

専攻	氏名(出身校)	専攻	氏名(出身校)
機械システム工学	稲毛基大(川越工業)	電子情報メディア工学	長島佑貴(秩父農工科学)
	岡田奨平(熊谷工業)		織田晃治(越谷西)
	塩島亜木斗(葛西工業)		松田弘樹(浦和工業)
	劉洋(海林市高級中学)		米田洋介(日本工大駒場)
	真殿遊馬(市川工業)		設楽勇(秩父農工科学)
	小林亮介(高松西)	建築デザイン学	小内裕貴(館林)
	宮田和也(下館工業)		大塚智晴(富岡)
	入江俊(大宮工業)		丸茂壮加(宇都宮工業)
	仲田仁(久喜工業)		柳原直也(江北)
	犬木拓也(秩父農工科学)		大倉大輝(新発田南)
電子情報メディア工学	原正東(神奈川工業)		吉田啓一郎(深谷第一)
	森田雄貴(熊谷工業)		小松香歩(文京学院大学女子)

◆大宮望准教授(情報工学科) 昭和40年12月25日生まれ。平成25年3月首

◆小崎美勇准教授(機械工学科) 昭和52年11月1日生まれ。平成21年3月

◆國弘保明講師(共通教育学系) 昭和50年5月27日

◆狩野みか講師(共通教育学系) 昭和51年1月23日

学部3年・4年次
大学院1年・2年次
の保護者対象

5/21(土)
4-401教室

入 場 無 料

お問い合わせは
就職支援課まで

保護者のための
就職ガイダンス

保護者のための
就職ガイダンス

◆桑原拓也助教(ものづくり環境学科) ↓准教授に昇任

◆佐野健一准教授(創造システム工学科) ↓教授に昇任

◆鈴木宏典准教授(ものづくり環境学科) ↓教授に昇任

▼皆さんの座右の銘にしたい言葉だ。【信

だ。▼彼の著書「自己発見」に「私たちは善良であると同時に賢明でな



協定書を交わす成田学長(左)と渡辺市長

更に②公共施設アセットマネジメントへの参加がある。幸手市は公共施設の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的として、平成28年度中に公共施設等総合管理計

調印式は本学で行われ、成田健一学長と渡辺邦夫市長がそれぞれ協定書に署名し協定が締結された。今後の展開が期待される。

協議会終了後は第二食堂に場所を移して懇親会も行われ、協議会の場とはまた違った意見や提案も話し合われて、大変有意義な会となった。

平 二
七 十
七 年 度 成 卒 業 生

【任用】(4月1日付) ◆内田祐一教授(ものづくり環境学科) 昭和40年10月25日生まれ。平成3年3月京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻

◆加藤史仁准教授(機械工学科) 昭和50年12月6日生まれ。平成24年3月

◆松井克典講師(共通教育学系) 昭和48年5月27日生まれ。平成26年3月放

◆河由美子事務職員(財務部財務課)

と。▼皆さんにとって、これからの大学生活が充実した日々になることを願っている。▼

協働で地域づくりを推進 本学と埼玉県幸手市は3月17日、包括的な連携協定を結んだ。目的は地域の人材や資源を活かし、協働によるまちづくり、地域づくりの推進を進めるとともに、地域振興の充実を図ることにある。主な取り組みの例として①日光街道幸手宿まち

2月2日、情報工学科実験研究棟5階の会議室にてEMS推進協議会が開催された。今年で12回目となる本

協議会では、理事長の挨拶に続き、平成協議会では、理事長の挨拶に続き、平成

28年度の学生環境推進委員会委員長である大風君からも次年度の抱負を交えた挨拶があり、その後、双方から資料に基づいて年間の環境活動についての取組み状況が報告された。また、意見交換も活発に行われ、次年度に向け、より一層の協力体制も確認された。

日工大生応援店ガイド完成 3月より在学生に配布

宮代キャンパス周辺の飲食店など21店がマップ上で紹介されたミニ情報誌で、学生用割引クーポンも付属。宮代町のワークショップによって企画・制作され、昨年に続き2016年度版としてリニューアルした。本学学生も店舗情報収集などに協力している。新入生の新生活の情報源としても活用してほしい。



◆生駒哲一教授(情報工学科) 昭和41年11月7日生まれ。平成7年3月総合研究大学院大学数物科学研究科統計科学専攻博士課程修了。博士(学術)。前九州工業大学大学院工学研究院電気電子学研究系准教授。

◆中尾比早子講師(共通教育学系) 昭和46年10月6日生まれ。平成21年1月名古屋大学大学院文学研究科博士課程日本語学専攻修了。博士(文学)。

◆山浦登志夫事務職員(企画室)

を募集しています。実行委員は、4月から活動を開始し、5月から8月にかけて「イベント」「ストリート」「安全美化」「広報記録」の委員会などにより、企画・準備を行います。詳細は、町ホームページや広報3月号でご確認ください。皆さんのご参加をお待ちしています。まつりを熱く盛り上げましょう！

宮代町
だより

201号

宮代町民まつり
実行委員募集!

を募集しています。実行委員は、4月から活動を開始し、5月から8月にかけて「イベント」「ストリート」「安全美化」「広報記録」の委員会などにより、企画・準備を行います。詳細は、町ホームページや広報3月号でご確認ください。皆さんのご参加をお待ちしています。まつりを熱く盛り上げましょう！